

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	それいゆ療育センター佐賀		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年2月16日 ～ 2026年2月19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性やニーズに合わせて支援を行っている。	・利用者一人ひとりの特性や理解の仕方、興味関心などのアセスメントを行う。アセスメントを基に環境調整を行い、視覚支援を活用して自立して活動できることを目指している。	今後も利用者と保護者のニーズや課題を踏まえ、話し合いながら一人ひとりに合った支援を提供できるようにする。
2	保護者同士の交流の機会がある。 ペアレント・トレーニングや家族も参加できる研修会の情報を提供している。	・年に3回程度保護者会を開催し、事業所として子育ての困りごとなどの相談に応じている。保護者同士の情報共有の場にもなっている。 ・事業所内に研修会のパンフレットを置いたり、配布したりして情報提供を行っている。	今後も保護者会や勉強会を開催する。保護者同士の交流の機会を設けて家族が安心して暮らせるように取り組む。
3	職員の知識や技術向上のための取り組みがある。	・職員研修があり知識や技術の向上を目指している。 ・事業所に外部講師を招いて研修を行っている。 ・職員の研鑽のため図書が整備されている。	今後も知識や技術の向上を目指し、健康で適切な支援を提供できるよう研鑽に努める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の人や施設との関わりが少ない。	・利用者の特性を踏まえて他者と交流するための学習を優先的に行っている。今は少人数での練習を行っており、地域での実践には至っていない。	・今後も利用者が地域で安心して暮らしていくために段階的に学習を行う。地域で実践できる利用者には機会を提供できるようにする。 ・地域での交流について情報収集に努める。
2	安全計画や非常時の対応の周知が不十分である。	・非常時等の対応や避難訓練については契約時に説明しているが周知が不十分である。	・今後は安全計画に沿って非常時マニュアルを策定していることや避難訓練、職員研修が行われていることを説明する。 ・防災学習や避難訓練時の様子を保護者に伝える。
3	保護者への説明や発信(活動概要や行事予定その他連絡等)が不十分である。	・個人情報の観点によりホームページ等での活動報告は行っていない。ご利用時に保護者に直接活動の様子を伝えているが説明が不十分である。	今後も活動の様子や支援内容について直接または連絡帳で保護者に伝えることを継続する。クラスの行事や学習テーマを配布するなどして周知に努めたい。